



mIRaI 通信

平成28年度ラスト号

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

大掃除

1年間をキレイにして終わろう!



カモたちに見守られ川辺の掃除

「有終の美を飾る」「立つ鳥跡を濁さず」「終わり良ければ全て良し」などなど、最後を迎えるに当たって言われる言葉の数々ですが、言葉が言葉で終わってしまっはいけません。表に、行動に現れないとね。各クラス、各学年でも終わりを控え、様々な取組我行われたようです。しっかり1年間が振り返られましたか?ただ、あまりにここで「終わり」を意識しすぎると、気持ちがこの場にとどまってしまう、来年度への足かせとなるやもしれません。みなさんにはまだ来年、再来年があります。大きな成長をするためにも、この1年間の軌跡は、来年度への糧となるような終わり方をしてください。

22日には1年生、23日には2年生が清掃活動を行いました。どの学年も本当に一生懸命活動できたようで、本当に嬉しく思います。

このような活動が一生懸命できること、それが伊里中学校の自慢であり、誇りですね。

1年間がキレイに終われそうです。ありがとう!



卒業生の机を運びます



2年生もポリシャー上手でした



全部廊下に運び出しました

グラウンド完成間近です!



長らくお待たせしていますグラウンドの工事も、いよいよ完了間近となりました。野球部とサッカー部の人たちは、今か今かと、まさに「首を長く」して待っています。卒業生に見せられなかったのが残念です。

さあキレイになったグラウンドに、最初の一步を残すのは誰だ!って競争しちゃだめだよ。みんなで美しい「足跡」を残していこう。



春...新たな出会いと別れ



先日3年生とお別れし、春の寂しさを感じたところですが、今日はお世話になった先生方とお別れもあり、感慨ひとしおといったところです。でもまたすぐそこに、新たな出会いが待っています。「別れと出会いの春」、まさにその通りですね。これを何度も何度も繰り返していくのが人生なんですねと、ちょっと悟ったようなことを言ってきました(苦笑)。

別れは悲しいものですが、誰とでも必ず何らかのお別れはやってきます。その別れ(出会い)が意味あるものであるかどうかは、その人に教わったこと、その人に会って学んだこと、その人との関係の中で変わったこと...などなどを、自分の中に完全に吸収し、生活に生かし、そしていつかそれを誰かに伝えて行く...それができるかどうかにかかっています。

人と人とのつながりは、自分だけのことに留まらず、また人につなげることで更に生きていきます。多くの学びを経て、どうか「伝えられる人」になっていってください。



そして1年が終わる...



振り返ってみると、1年というのは本当にアッ!という間ですね。

もちろん、長い長〜い時間が流れるわけですから、その中には本当に様々な出来事があるわけですが、年度の終わりを前にしてみると、何と短く感じるのか。人間って不思議だと思つづく思います。

1・2年生の生徒のみんなも、様々な体験をし、様々な思いに揺れた1年だったことでしょう。

今、学年の最後を迎え、胸に去来する思いはどんなものでしょうか。

どんな経験であれ、それを振り返り考えていくことで人間は強くなります。

みんな強くなったかな?



卒業式後の1週間がとても大切!と書きましたが、その大切さを感じながら、大切に大切に生活できましたか?たかが1週間ですが、この1週間は今後、大きくあなたたちの新年度の生活に影響を与えていきます。

「終わりよければ全てよし」ということわざがあります。もちろん、それに対応して「1年の計は元旦にあり」ということわざもあります。終わりがいくら良くても、それが辻褄合わせの格好だけのものなら台無しです。でも、終わりは良い方が次に良くつながるのも事実。

良い終わり方ができそうですか。今日を、この1年をしっかりとふりかえり、次への「つなぎ」として下さい。

School

新しい学年が、新しい環境が、あなたたちを待っています。



保護者の皆様、この1年間、様々な本校教育活動にご理解とご協力ありがとうございました。至らぬ点もあったと思いますが、私たちもしっかり振り返り、また来年度につないでいきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひいたします。4月からは、ついに小中一貫教育校「伊里学園」も開校します。

「miRal通信」ご愛読ありがとうございました。今年度は173号まで到達しました。新記録でございます。そして、「記録は更新されるためにある」(苦笑)。



そしてまた春はやってくる...

二十四節気 春 分

次候「桜始めて開く(さくらはじめてひらく)」3月25日~29日頃

その春に初めて桜の花が咲く。古来、人は桜を愛で、数々の歌を詠んできました。



末候「雷乃声を発す(かみなりこえをはっす)」3月30日~4月3日頃

春の訪れを告げる雷が鳴り始める頃。恵みの雨を呼ぶ兆しとして、喜ばれたそうです。

